令和7年度 第1回 鈴鹿市立千代崎中学校 学校運営協議会 実施報告書

- | 日 時 令和7年 5月 8日(木) | 15:00 ~ 16:00
- 2 場 所 千代崎中学校 図書室
- 3 あいさつ(学校長、委員長)

【委員長】

・委員の皆さんと協力して、学校運営協議会で熟議を行い、学校運営をサポートしていき たい。

【学校長】

- ・本日の運営協議会では今年度の学校経営方針・配当予算の承認を頂くとともに、委員の 皆様からは忌憚ない意見を頂き、学校運営を活かしていきたい。
- ・2・3年生は進級して、確実に昨年度より成長している姿が見られる。

4 協議内容

- (1)令和7年度の学校運営構想について(承認)
 - ①学校運営の改革方針について
 - ・基本理念は大きく変化するものではなく、従来からのものを継続して取組を進めていく。 また、「命を大切に」「率先あいさつ」「学び続ける」を3つの柱とし、教職員が全ての教育 活動の場面において意識して指導するようにしている。
 - ・「ハートフル千代崎中」を掲げ、生徒・保護者・同僚に対して温かみのあるハートフルな言動を心がけるとともに、I 学期は peaceful (安心できる)、2学期は helpful (助け合える)、3学期は colorful (個々の個性を認め合う)と、学期ごとの目標を設定している。
 〈学力向上〉
 - ・今年度は「対話」をキーワードとして授業改善を進めていく。その土台としても国語力の 育成は大切であり、中 I・2の国語では TT で授業を行い、個に応じた指導ができるように 授業づくりを進めていく。
 - ・具体的な取組の成果指標としては全国学力・学習状況調査において全国平均を上回ることを設定する。

〈生徒指導·不登校対応·特別支援教育〉

・生徒と教師との信頼関係づくりを第一に据え、生徒指導上課題のある生徒を含め、全て の子どもを受け入れることを基本とする。 ・教室に入れない生徒や個別の支援を要する生徒については、保護者と連携を深め、中長期的視点での一貫した支援計画を策定し、一人ひとりのニーズに応じた支援に取り組んでいく。

〈多文化共生教育〉

日本語教育支援システムを効果的に活用して、一人ひとりの特性や個々の日本語能力に応じた指導に努める。

〈その他〉

- ・今年度の9月の学校運営協議会を校区小学校と同一日に実施し、拡大運営協議会を開催する計画である。なお、参加者については現在調整中である。
- ・地域連携に関しては、海岸清掃や各種演奏会、公民館文化祭など地域行事に可能な限り 参加をしていく。

【意見交換・質問:委員より】

- ・学校における防災教育の取り組み状況について。
 - →は避難訓練の実施方法についても変化を加えた。グランド避難後を考え、下靴に履き替えて避難をさせた。(スリッパの場合と比較しても避難時間に大きな差はなかった。)
 - →防災地図に現れない危険可能性のある個所については地域の方が把握している実態 もあり、そのような情報共有を運営協議会の場でも進めていきたい。
- ・通学路の交差点(千代崎駅近辺)が危険である。協力して取組ができないか。
 - →自治会からの要望に学校も協力していく。また、学校通信でも交通安全を啓発している。
- ・不登校の生徒が増加していると聞いているが、原因が分からず親も困っている現状があるのでは。親が交流できる場が地域にいくつかあると聞いている。
 - →現在は学び方も多様化しており、中学校卒業後の進路選択についても幅が広がっている。学校復帰を目標としながらも、一人一人の実態・ニーズに合わせた支援と情報提供に努めていく。
- (2) 令和7年度の学校配当予算について(承認) 本年度も生徒のために適切な予算執行に努めていきたい。
- (3)令和7年度の主な行事予定について

6月 期末テスト(23日~25日) 中体連地区大会

7月 保護者会(15日-17日)

9月 避難訓練(I日)

中間テスト(24日、25日)

10月 文化祭(29日)

| 1 | 月 2年職場体験学習(| | 日 - | 3 日) 期末テスト(20日、2 | 日、25 日)

| 12月 保護者会(|7日-|9日)

|月 3年学年末テスト(9日、13日、14日)

2月 1・2年学年末テスト(25日-27日)

3月 卒業式

5 CS アドバイザー講評

本日は欠席のため講評はなし。